

年間指導計画表

教科・科目	地歴科・日本史研究	単位数	4単位
		学科・学年・学級	普通科普通・3年・文型クラス

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	我が国の歴史の展開のうち、特に内容が高度化する中世後期(室町時代)以降をとりあげ、世界史的視野に立って総合的に考察し、日本の文化と伝統の特色についての認識を深めることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
使用教科書・副教材等	①教科書:山川出版社『詳説日本史B』 ②資料集:浜島書店『新詳日本史』 ③史料集:第一学習社『詳録新日本史史料集成』

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出	30%
b. 思考・判断・表現	日本の歴史から課題を見だし、文化の多様性・複合性や日本の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・定期考査	20%
c. 技能	日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	・課題提出 ・ノート提出	10%
d. 知識・理解	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・ノート提出 ・定期考査	40%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	10	○室町時代の研究	武家政権の支配の進展や庶民の台頭、東アジア世界との交流に着目し、武家文化と公家文化のかかわりや庶民文化の萌芽、地方での文化の普及の様相を理解する。下剋上の風潮を背景に戦国大名が各地に登場し、領国の経済発展と軍事力強化をはかったことを理解する。	○	○	○	○
	5	15	○織豊期の研究	ヨーロッパ人の来航と外来文化の受容がそれ以降の日本の歴史に果たした役割や意義を考察する。織田信長・豊田秀吉の統一過程をとらえるとともに、検地や刀狩などを中心に全国的な支配体制を確立する一方で、朝鮮侵略に至る秀吉の対外政策についても明らかにする。	○	○		○
	6	15	○江戸時代前期の研究	徳川家康から家光に至る治世に確立した幕藩体制と対外政策を構造的にとらえるとともに、大名などの統制のあり方や鎖国制の実態について考える。文治政治への転換に至った背景をとらえるとともに、幕政の展開をその問題点とともに理解する。農業や諸産業の発達と交通網の整備によって、全国的な商品流通経済が確立したことをとらえる。経済の発達が、農民の階層分化を促進し、それが幕藩体制動揺の一因となったことを理解する。元禄文化の特色とその担い手について、当時の社会・経済の発展と関連させて理解する。	○	○		○
			<第1回考査>			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	a	b	c	d	
前期	7	16	○江戸時代後期の研究	幕府・諸藩の改革が封建社会の危機を深めたことを理解する。欧米列強のアジア進出とその対応の変化が幕藩体制や鎖国制に及ぼした影響について考察する。幕政改革の失敗に対し改革に成功した西南雄藩が幕末政局の主導権を握っていくことを展望する。	○	○		○	
	8								
	9	16	○幕末～明治時代の研究	日本開国の世界史的背景に留意しながら、開国の衝撃を契機として幕末の政治的激動が進行した過程を理解する。討幕派の形成から幕府の滅亡に至る政治過程と、明治新政府による中央集権体制の確立過程について理解する。藩閥専制政府のもとで実行された一連の近代化政策の意義を、その問題点とあわせて考察する。立憲政治をめぐる自由民権運動と藩閥政府との対抗関係の歴史を考察し、成立した大日本帝国憲法下の政治体制の特質を理解する。	○	○		○	
	10		<第2回考査>			○	○	○	
後期	11	14	○大正時代の研究	第一次世界大戦の原因と経過、その世界史的意義をとらえ、大戦が日本の社会・経済に及ぼした影響について考察する。大正期の政党政治の成立過程を理解するとともに、政党内閣の内外の課題への対応について理解する。都市化と中産階級の成長を背景に成立した市民文化の独自性について、具体的事例に即して理解を深める。	○	○		○	
	12	14	○昭和初期の研究		恐慌による日本経済への打撃のなか、しだいに軍部や右翼が台頭したことを理解する。満州事変が日本の国際的孤立を招いたと同時に、政党政治が終焉して軍国主義への道に進む契機となったことを理解する。軍国主義化が進展する中で日中戦争が勃発し、戦争の長期化が軍国主義のもとで総動員体制を進行させたことと枢軸体制の形成に向かわせたことについて理解を深める。太平洋戦争の開戦に至る経緯を国際情勢とあわせて理解し、戦争の現実について考察する。	○	○		○
		12		<第3回考査>			○	○	○
後期	1	40	○戦後史の研究	戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について、その経過と内容を理解するとともに、戦後政治の集大成となる日本国憲法制定の意義を理解する。55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。また、高度経済成長を遂げる過程で日本社会が大きく変貌したことや、アメリカのアジア政策に協力することによって日本が国際的地位を高めたことを理解する。	○	○	○	○	
	2								
	3								